RVシリーズルータのルーティングテーブルの表示

目的

ルーティングテーブルには、その直近のネットワークトポロジに関する情報が含まれています。ルーティングテーブルを表示すると、IPv4を使用しているデバイスの宛先LAN（ローカルエリアネットワーク）インターネットプロトコル(IP)アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびインターフェイスと、宛先のネクストホップが表示されます。ルータがIPv6をサポートしている場合は、IPv6経由で接続されているデバイスのインターフェイスが表示されます。これにより、管理者はスタティックルートを設定するときにルータの有効性を確認できます。

この記事では、RVシリーズルータのルーティングテーブルを表示する方法を説明します。

該当するデバイス

- RVシリーズ

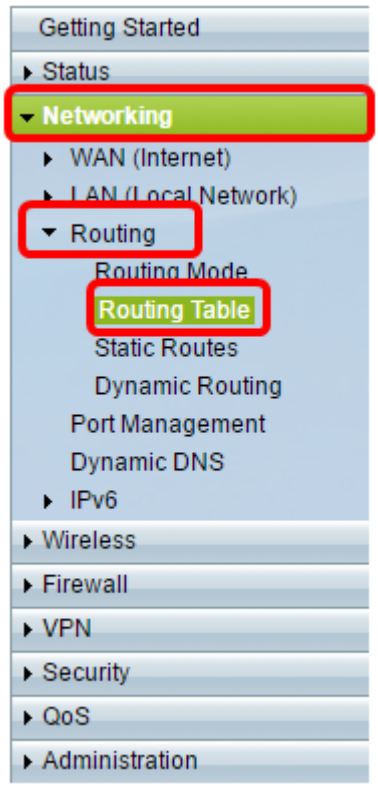
[Software Version]

- 1.0.1.3 — RV130、RV130W
- 1.0.0.17 — RV132W
- 1.0.0.21:RV134W
- 1.0.5.4 — RV180、RV180W

ルーティングテーブルの表示

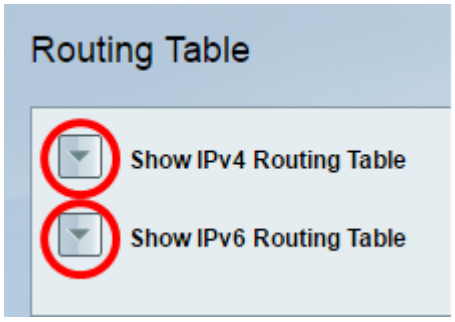
ステップ1:Webベースのユーティリティにログインし、[Networking] > [Routing Table] を選択します。

RV180またはRV180Wを使用している場合は、[Networking] > [Routing] > [**RoutingTable**]を選択します。

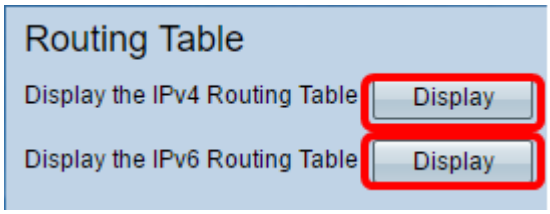


ステップ2：表示するIPルーティングテーブルを選択し、適切なボタンをクリックしてルーティングテーブルを表示します。

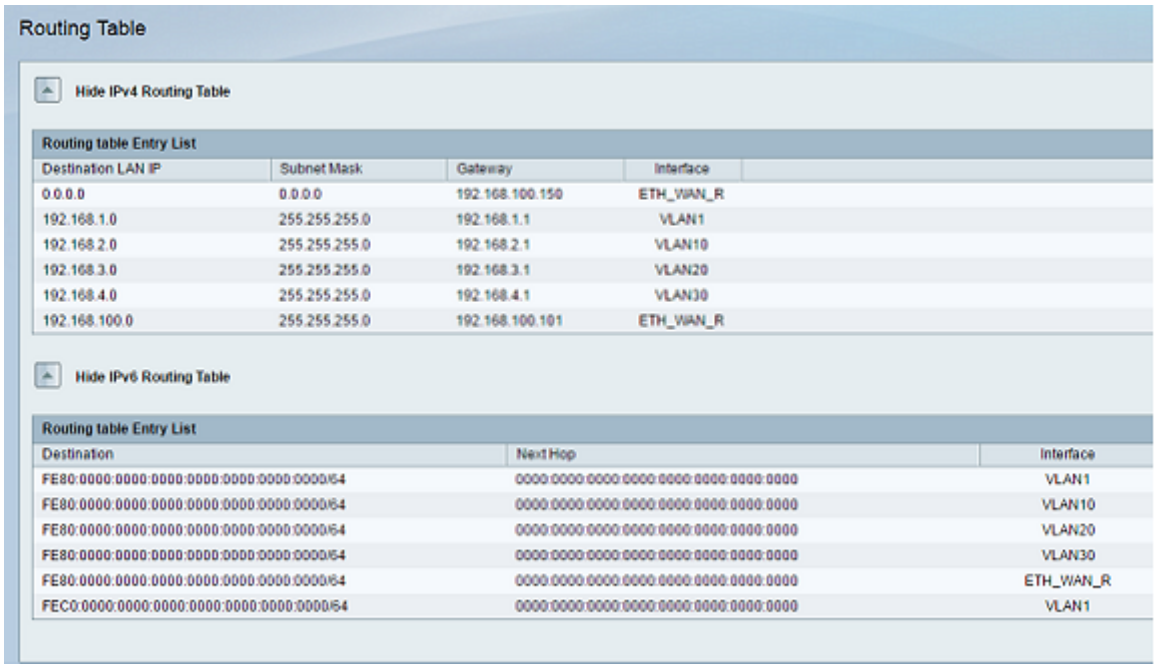
注：この例では、IPv4とIPv6の両方のルーティングテーブルが使用されます。



RV180またはRV180Wを使用している場合は、**Display**をクリックします。



ステップ3：選択したIPバージョンのルーティングテーブルが表示されます。目的のルートを確認します。



RV180またはRV180Wを使用している場合は、次のように表示されます。

Command Output

Route Display...

IPv4 Routing Table

Destination	Gateway	Genmask	Metric	Ref	Use	Interface	Type	Flags
127.0.0.1	127.0.0.1	255.255.255.255	1	0	0	lo	Static	UP,Gateway,Host
192.168.2.0	0.0.0.0	255.255.255.0	0	0	0	bdg34	Dynamic	UP
192.168.1.0	0.0.0.0	255.255.255.0	0	0	0	bdg1	Dynamic	UP
192.168.1.0	192.168.1.1	255.255.255.0	1	0	0	bdg1	Dynamic	UP,Gateway
172.16.15.0	0.0.0.0	255.255.255.0	0	0	0	eth1	Dynamic	UP
10.10.0.0	0.0.0.0	255.255.0.0	0	0	0	eth1	Static	UP
10.10.0.0	10.10.0.200	255.255.0.0	1	0	0	eth1	Static	UP,Gateway
127.0.0.0	0.0.0.0	255.0.0.0	0	0	0	lo	Dynamic	UP
0.0.0.0	10.10.1.1	0.0.0.0	0	0	0	eth1	Dynamic	UP,Gateway

Refresh

これで、RVシリーズルータのルーティングテーブルが正しく表示されました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。